

ぼらっと

【第12号】

2010年8月26日



『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、
「ボランティア」しましょう!!という造語です。

発行元

〒020-0541栗石町千刈田82-2

栗石町総合福祉センター内

栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 F A X / 691-1140

e-mail/shizukuishi-VC@shi-sha.jp

http://www.shi-sha.jp/

ホームページからもご覧になれます。

栗石中学生の暑い夏の一日をご紹介します!!

【事前学習】 9:00~

岩手県環境生活部県民くらしの安全課坂本氏から地域安全マップについて受講中!!



調をが見入中四 習つ険安の九中 まア石
査一起えり学つ事しけを全テ名学スしス町八
し時こにや校の前まる察マIが校クたく青月
ま間りくす周グ学しく知ツマ参一。I少二日
し半やいく辺ル習たLすプで加くル ル年日
たほす場、のIを。にるづあし三に Lポ(一
。どい所誰ーブ受 つ力くる、年は をラ月
歩場IIか誰がけ いをりー今生、 開ン一
い所犯らも栗て て身く地年の栗 催テ一
てL罪もが石、 学に危域度十石 しイ栗

【フィールドワーク】 10:00~

中学校周辺の危険箇所を調査。緊張しながらも街頭で地域の方へのインタビューにも挑戦!!



大地ご事とを住プがと学ル 成マ組マ果
変域協だは持民ぶ少直生をま度 ツみツを午
感住力っ、つのくな接が通たでプ、プも後
謝民いた大こ皆りくお地し、しもどぶとか
いのたと変とさを、話域て今た素のくになら
た皆だ思意がん通今を住、回。晴グリ「は
しさきい義でとし回す民普の らルL地、
まんまのき関てののの段ス しIに域調
すにしすあたわ地マ機方、ク いプ取安査
。はた。るこり域ツ会々中I 完のり全結

【安全マップづくり】 12:45~

アドバイザーの指導のもと、自分たちで撮ってきた写真や調査してきた危険なところ・安全なところを地図にまとめる作業を行いました。チームワークが必要とされる作業でした。



【地域安全マップ完成】 14:00

どのグループも素晴らしい作品が出来上がりました!!



担当者は見たっ!!

連日の真夏日で、冷凍庫から出したアイスクリームもすぐに溶けてしまうほどの暑さ。もちろん、ボランティアスクール当日も「ここは熊谷市かっ!!」というほどの暑さで、爽やかな朝とは縁遠く…。某事務局担当者は、始まる前に想像していました。「中学生はきっと「超暑いしっ〜。」「こんな暑いっしっ〜。」の連呼するんだろっなっ〜。」と。

ところが、来た生徒さん方は「おはようございます。」と爽やかにあいさつ…。しかも、講師先生のたくさんある荷物を持ってくれる気の利きよう。

しかも、一人二人じゃない…。(やるじゃん。)

こんなことが、サラッとできちゃったな。と感心。

「あ〜栗石中学校の生徒さん達。ブメンなさいね。」と即座に心の中で何回も反省しました。

皆さん。今どきの栗石中学生

なかなかカデキますよ!!



前回のぼらっと11号で「ボランティアの達人」コーナーの出演者が総勢10名となりました。そこで2回にわたり特別版として

今までご出演いただいた方々を振り返ってみたいと思います。



第1回は、福祉有償運送サポーター・スノーバスターズから齊藤正三さんでした。ボランティアを

長く続ける秘訣は?という問いに「自分のやれることで誰かのお手伝いが出来るならば」という気持ちでやめないこと。「出来ないことはやめてもいい、強制が一番良くないから。」と答えて下さいました。確かに強制ならば、ボランティアではなくなりますがものね。ごもっとも!



第2回は、当時結成されたばかりの災害救援ボランティアサポーターの会から細川仁さんでした。

ボランティアを始めたきっかけは?という問いに「歳をとった時

助けてもらわなければいけない状況になるので、今のうちに助ける側になっておきたかった。」と答えて下さいました。人と人とのつながりを大切にしたいという、気持ちがあふれた回でした。



第3回は、ふれあいサロンこの指とまれから南黒沢麻子さんでした。楽しいサロンにする秘訣

は?という問いに「違う人生を歩んでこられた方々が集まっているわけですから、各々の自発性を大切に、自然体で楽しめる場所であるようにしています。」と答えて下さいました。お互いを尊重し合うことの大切さを語って下さいました。



第4回は、手話サークル滴から高橋順子さんでした。素人でも手話を覚える事ができますか?

という問いに「難しく考えずに、興味があればいつからでも始められますよ。」と答えて下さいました。手話サークルはこの年、発足16年目を迎えたのですが、先輩方から受け継いだこのサークルを長く続け

ていきたい。」と意気込みを聞かせて下さいました。



第5回は、栗石町スノーバスターズから西田さんと三浦さんでした。スノーバスターズの方々の

印象は?という問いに「年齢層が高いのに(平均年齢72歳)若々しくて体のキレが違うんですよ!息切れしないんですよ!体の使い方が違うんでしょうね。尊敬しています。」と答えて下さいました。仕事をしながら休日活動しているお二人のことも私は尊敬します。

次号へ続く

教えて! NPO



このコーナーでは、NPO法人しずくいし・いきいき暮らしネットワークからの最新情報や町内のNPO団体を隔月で紹介し

第6回目は『秋田岩手横軸連携交流会』。「主に道路を軸とした地域間の交流連携を通じて、まちづくり・地域づくりなどをテーマに、歴史や文化を尊重しながら地域間の交流・連携を促進する取り組みや活動を支援し、沿線に暮らす人々の活力あふれる社会の実現に寄与すること」を目的として、平成12年に設立されました。

国道46号線・106号線の沿線地域資源掘り起こしと情報の発信を行い、横軸(秋田~盛岡~宮古)が安全で安心な、さらには魅力ある道づくりへの取り組みを行っています。

ボラ活で「ターカ」の告知(5月)



栗石町いきいき福祉まつい 2010を開催します!

9月11日(土)、栗石町アルペン広場にて『栗石町いきいき福祉まつい2010』を開催いたします。ステージ発表や催物などがありますので、ぜひ遊びに来て下さい。お待ちしております! (今回の区长配布物の黄色いチラシをご覧ください。)

担当: 澤口・成田